

◆ 第2回都市公園指定管理者選定委員会議事録

日時 平成25年10月22日(火)午後2時から午後4時30分

場所 鎌倉市役所 823会議室

出席者 委員：輿水委員長、飯塚副委員長、伊藤委員、小林委員、飯田委員

事務局：館下担当課長、新倉課長補佐、大前職員、飯泉職員

委員長 只今より第2回笛田公園指定管理者選定委員会を開催します。

お手元の会議次第(案)に基づき進めたいと思いますがよろしいでしょうか。

……………意義なし……………

それでは、第2回選定委員会の議事録の確認について事務局より説明をお願いします。

事務局 議事録につきましては、事前に事務局より各委員に送付いたしまして、訂正箇所等、御意見はありませんでした。

委員長 議事録につきましては、各委員に事前にご確認をいただけたということによろしいでしょうか。

……………意義なし……………

それでは、各委員の了承が得られましたので、議事録については、ご確認いただいたということで先に進めさせていただきます。

つづきまして、ヒアリングの進め方の確認をしたいと思いますので、事務局より説明をお願いします。

……………事務局説明……………

事務局からの説明で何かご質問または御意見がありましたらお願いします。

……………質疑なし……………

委員長 それでは、これより笛田公園指定管理者に応募された団体の公開ヒアリングを行います。

……………三菱電機ライフサービス提案説明……………

委員長 ありがとうございます。それでは、質疑応答に移りたいと思いますのでよろしくをお願いします。只今の提案内容の説明等についてご質問がありましたらお願いします。

委員 提案者が行ってきた8年の歴史の中で、自分たちにしかできないというアピールポイントを具体的に教えてください。

提案者 公園の指定管理者は共同事業体が多いですが、当社は業務体系が幅広く、一

社単独でスポーツ施設や緑化剪定管理、イベント等、当社にできないことはないというのは大げさですが全てコントロールできるというのが強みだと思っております。

委員 前回の提案では様々なイベントを実施したいとのことでしたが、実施状況を見ると、平成 21、22 年度は様々なイベントを行っていますが、平成 23、24 年度はヨガ教室とお正月飾り作りのみになっています。サービスの先細りであり、地域社会のコミュニティーづくりに寄与しているのでしょうか。

提案者 最初に行っていた骨密度測定会では不特定多数の方に参加していただきましたが、来ていただく方が年々固定化し、アンケートでもヨガ教室やものづくりの答えが多く、希望を取り入れた結果です。今後の幅広い大きなイベントを考えてまいりたいと思っております。

委員 提案者の企業、資金力からしてみれば、はたしてそれで十分なのでしょうか。自分たちから発信して積極的にやる、行動する、というものが見えません。

提案者 グループ企業にも幅があり、一社ではできないこともあります。三菱電機はスポーツが盛んであり、笛田公園で無料開放し、企業チームの選手による催しをする構想があります。鎌倉市の体育協会の協力し、次につながる構想を考えている。

委員 一回で終わってしまうものではなくて、地域との連携として、少子高齢化のシニア向けイベントや、子育て支援のイベントができないのでしょうか。

提案者 当社では介護事業を行っている経験から、囲碁教室や軽いスポーツ教室などを行っています。

委員 スポーツ用品のレンタルや弁当の販売実績をみると、もっと実績があがるのではないかと思います。土日は弁当販売が休みなのではないのでしょうか。土日は大会も多く、販売額が増え、大会参加者も喜ぶと思います。

提案者 土日の販売は天候や予約の人数などの問題もありますが、当社はフードセンターを自社で有していますので、前向きに検討したいと思います。また、自社で対応できない場合は、提携企業の協力を得たいと思います。

委員長 前向きに検討いただきたいですが、先ほどから指摘があるようイベントがマンネリ化していると思います。企画会議など、検討の場は常時あるのでしょうか。

提案者 当社では月に一回、運営の状況と今後の対策について、現場では週に一回会議を行っています。一番市民の意見を吸い上げられるのはアンケートなので、その答えを基に平等な利用になるように運営しています。

委員長 提案書にアンケートを行うとありますが、第三期で提案するような内容ではないと思います。

提案者 第二期の途中から継続してアンケートは実施しており、三期目の提案書にも記載しています。

副委員長 工夫して稼働率を高めたことはすばらしい企業努力です。しかし、運動公園として特定の施設利用しかないなかで、常識を打破して、盆踊りなどのイベントを行うなど、足を運んで来る市民の方々に興味を持ってもらわないと、運動に興味がない方やある程度の年齢の方の利用はほとんどなくなります。ここから一工夫となると、難しいとは思いますが。

経営基本方針に企業グループの特性を活かすということがありますが、グループをあげて、市民にスポーツ文化に触れてもらうようなイベントを行ってほしいです。そういったことをしないと日常的に笛田公園に足は向きません。

また、環境問題と云ったら CO<sub>2</sub> 以外はないのでしょうか。生物問題もあります。

8年間やってきたことを次につなげないといけません。

提案者 イベントについては以前も指摘されましたが予算の関係で実施できていません。一回で終わらず、そこから続くようなものを考えたいと思います。

副委員長 災害について、高性能のトランシーブを導入すると提案にありますが、市とのネットワークはどうなっているのでしょうか。災害時に電話もつながらないとなると、連携はどうなっているのでしょうか。シミュレーションをしておくべきです。

提案者 先日市役所と公園で通信できるか実験を行って備えています。

委員 笛田公園は防災拠点となっていますが、災害時に多くの人来的时候に備蓄やペットの対応は考えているのでしょうか。

提案者 広域防災拠点であり、避難は一時的なものなので、備蓄はありません。しかし、町内会と協議して最大限の協力をすりことになっています。また、自販機はフリーベンダー契約です。

委員長 現場責任者に聞きますが、管理上で苦労はありますか。また、笛田公園ならではの問題はありますか。

提案者 公園の近隣住民対応が苦労するところです。斜面地にある公園なので草刈のトラブルがあります。近隣の方の意見を聞きながら作業を行っています。

委員 現状では鎌倉市体育協会との連携が少ないと思います。協会と協力してイベントを盛り上げていければと思います。

委員長 1社の持ち時間である20分が経過しましたので、質疑応答を終了します。三菱電機ライフサービス株式会社湘南支社の皆様、お疲れ様でした。

続きまして、笛田公園を除く都市公園の指定管理者に応募された団体の提案説明及び質疑応答を行います。「公益財団法人鎌倉市公園協会」及び傍聴者の入室をお願いします。

……………鎌倉市公園協会提案説明……………

- 委員長 ありがとうございます。それでは、質疑応答に移りたいと思いますのでよろしくをお願いします。只今の提案内容の説明等についてご質問がありましたらお願いします。
- 委員 決算書が公益法人に大事な予算との対比になっていません。予算の範囲以内でどう節約していくか、最大限の効果をあげていくかが重要です。市から収入を全部使えばいいという考えではいけません。支出を厳正に考えて、その中からどうやって最大の効果を出すような予算を組まないといけないのではないのでしょうか。
- 提案者 決算は、予算との比較という書式の報告はしていません。今後は予算があつての決算であるということを十分精査ながら作成していきたいと思います。
- 委員 毎年3月の決算前に次年度の予算を作るという意味が薄れているのではないのですか。大事なことですので、公益法人ではそれを十分考えていただきたいです。
- 副委員長 前回の提案に比べると大変わかりやすい内容であり、皆さんの努力です。特に公園台帳での履歴管理は、過去の情報を途切れることなく受け継げるもので、市に成り代わり管理しているのは重要なアピールポイントです。しかし、前回も指摘しましたが、観光についてもっと触れてほしいところです。公園のみどり、花、清潔感といったものは観光にとって大変重要です。市民にはもちろん観光客に対してのおもてなし業務をしっかりやりますというところを提案しないともったいないです。観光を意識した公園管理をおこなったらいかがですか。行ってみたい、行ってよかった、また行きたいと思う公園にするにはもう一工夫が必要だと思います。
- 多くの空間を管理しているのだから資源に対しての配慮をしていると思いますが、専門的、高度な知識を有しているのでしょうか。
- 提案者 公園サポーターに協力してもらい、特に鳥に詳しい方を呼んで、月に二回程度、子ども達や興味のある方を対象にして、講座を開いており、そういう方々も植物管理、樹木管理をしています。
- 副委員長 知識を有する人がたくさんいる中で、必要な時にアドバイスをもらえるような方はいらっしゃいますか。
- 提案者 それぞれ分野的に詳しい方と連携を取っており、その方々が講座、教室の講師となって、各担当がそれについて参加者と共に私たちスタッフが学んでいるというシステムになっています。
- 副委員長 公園管理には履歴が大切になり、信用性を高める努力をするべきです。外来種問題などの情報を得て、知識を蓄積する努力をしていただきたいです。
- 委員 直営管理とボランティア活動のメリットとして、確実な維持管理費の節減とあるが、今後5年間の維持管理費の収支予算はまったく同じであり、どこが削減されているのでしょうか。市からの指定管理料をすべて使ってしまうばいいという考え方にしかみえません。

- 委員長 前日も同様の指摘がありました。その後の維持管理の状況と今回の提案でどのようになったかの回答をいただけますか。
- 提案者 これまで2期8年指定管理者として、指定管理制度が民間活力を活用し、経費の削減を求められる制度であることは理解しています。市側の財政状況を考慮し、自助努力しています。公園の安全を確保することが一番大事であり、単純に維持管理費を削るのではなく、本来市の発注になる50万円を超える修繕業務についても、協会で行いたいと考えており、今回満額の申請をしました。
- 副委員長 提案の仕方が重要です。公園管理内容は多岐にわたり、管理者の裁量が大きく、何を優先的に行っているか、直営率を高めて経費を削減しているのかを市民に分かりやすく示すことが重要です。■■■委員の指摘があるということは、予算をすべて使い切ることが最優先のように映っています。
- 委員 職員に占める元市職員の割合はどのようになっていますか。
- 提案者 事務局で1名、現場では約30名のうち10名弱であり、全体で30%程度です。
- 委員 職員に対して意識改革をしていますか。
- 提案者 年度初めの全体研修で接遇面に力を入れています。またコンプライアンスについては、新聞やTV報道などの情報を朝礼などで全職員に通達しています。
- 委員長 以上で、すべての質疑応答が終了しましたので、公開ヒアリングを終了します。皆様お疲れ様でした。
- ……………応募者退出……………
- 委員長 今までの応募者の提案説明、質疑応答の中で何かお気づきの点などご意見がありましたら、お願いします。
- 副委員長 2者を比べると今までの2期の提案内容では、大きく差をつけ三菱電機ライフサービスが優れていましたが、今回は三菱グループをあげてのやる気が見えてこない。それに比べ公園協会は資料の作り方は要点を捉えていて、やる気が見られました。
- 委員 指定管理が導入される前は市職員が笛田公園事務所において、苦情処理にあたっていましたが、民間でそういった対応したことがない方は苦勞されるはずで、気持ちの持ち方が重要で、市民サービスは気持ちの持ち方ひとつで違ってきます。
- 委員 三菱電機ライフサービスの提案は、検討しますと締めくくるものが多く、今後の状況をみていきたいと思います。
- 委員長 企業の経営状況等について、■■■委員からご意見いただけますでしょうか。
- 委員 三菱電機グループであり、経営状況は安定しているからこそ期待するものがありますが、8年間見て自立していく、積極的にすすめていく、といったも

のが見えません。もう一步踏み込んで何かがほしい気がします。三菱の関連会社、下請け子会社としての影響力が強いはずなので、企業を巻き込んで公園で行事を行い、市民にアピールすることが必要です。

公園協会は小さい組織にしては、市とともに一生懸命頑張っていると思います。しかし、公益法人として予算を定めているのを決算書に記載しないのは、ただ市からの収入に頼っているというだけではないでしょうか。経営管理は公益法人では重要なことですので、それを認識してほしいです。

副委員長 三菱電機ライフサービスは現場の声が聞こえてきません。現場責任者がこの場にいるのであれば、その方が説明すべきでした。指定管理者制度では組織だけでなく、現場で働く個人が重要になります。

委員長 三菱電機ライフサービスは三菱グループから、公園協会は鎌倉市から自立できていない。これは人、仕組、組織の問題なのかどちらなのでしょう。ひとつには人の問題だと思います。

委員 三菱電機ライフサービスは、鎌倉での三菱の存在を考えれば、もっと自立できるはずです。公園協会は組織が小さく、鎌倉市から自立するのは難しいと思います。

委員 スポーツ団体の話を聞くと、自主的に行おうという姿勢が見られません。指摘がなければやらないというのは違います。

委員長 市からの指示を待つのではなく、自主的にやらせてもらえないかということをも市に訴えるような姿勢が必要です。

事務局 市への提案姿勢はあります。事業の発展性がないと指定管理者制度を導入した意味がありません。スポーツ団体と積極的な話し合いが足りないところも感じますが、大会などで利用しているスポーツ団体と一般利用者との間で生じる問題を調整することは難しいのも事実です。また、現場からの情熱は伝わってきますが、支社との温度差を感じることもあります。

副委員長 どんなに努力をしても重要な事故は避けられない。それに対する対応は現場の個人では対応しきれないものであり、初期の対応次第では問題が大きくなります。三菱電機ライフサービスは大きな企業ですので対応できると思いますが、公園協会は今の体制、管理施設を考えるとでは心配があります。

委員長 実際に事故等はあるのでしょうか。

事務局 けがや倒木などの事故はあります。

副委員長 選定委員会のヒアリングだけではなく、指定期間中にヒアリングなどを行えないのでしょうか。そこで私たちの意見を聞く機会を作るといいと思います。また、直営率が高まったことによって、それが原因で事故につながっていることはないのでしょうか。直営率が高まることによるリスクを勉強して欲しい。

また、今回応募が1社ずつしかありませんでしたが、この原因を市は分析し

ておく必要があります。お金の問題だけでなく、業務そのものに魅力がないのか、参入企業が少ないことをしかるべき立場の人も含めて検証する必要があると思います。

委員 公園協会はなぜ笛田公園に応募しなかったのでしょうか。取り返すつもりで提案してきてほしいです。

委員長 それでは、これまでの質疑応答を踏まえ、各委員で採点していただきまして、採点表を事務局に提出していただくようお願いします。提出方法等について事務局から何かありますか。

事務局 大変時間がない中恐縮ですが、お配りしてあります封筒に採点表を入れていただき、10月29日（火）までに投函してくださるよう、お願いいたします。

委員長 採点表のつけ方に目安はあるのでしょうか。

事務局 5段階評価で、特に優れているものが5、優れているが4、普通が3、やや劣るが2、劣るが1で、3点を基準に加点、減点をしていただきたいと思います。

副委員長 採点の目安は自由でいいと思います。加点評価をするというのは中々ないと思います。それよりも、前回確認していますが、1社だけの提案だからといって、どんな点数でもいいということではなく、60点が合格点ということでしょうか。

事務局 合格には5人の採点の合計が6割に達することが条件と考えております。

委員長 では合格には全体で6割の点数が必要ということを確認します。限られた時間ですが、よろしくお願いします。次回の第3回選定委員会で指定管理者の候補を決定したいと思います。

本日の会議次第はすべて終了しました。皆様お疲れ様でした。